

## 基本的な考え方

「患者」、[県民]に“親切な医療”を提供できるよう、  
[職員]を育て、地域の医療機関と連携し、奈良県の  
医療レベルの向上に貢献する。

患者

県民

職員

患者にとって最適な医療の提供

県民の健康維持への貢献

最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

## 法人の決意

すべての職員が、患者の視点に立った医療を  
提供できる組織文化をつくります。

県民の健康を守るため、県内の医療機関と連  
携し、病院完結型から地域完結型の医療提供  
体制を目指し、その基幹病院となります。

職員が誇りとやりがいをもって働くことがで  
きる職場環境をつくり、次代を担う医療人の  
育成に取り組みます。

大項目

法人の決意

I. 患者にとって最適な医療の提供

全職員が法人の理念を理解し、中期目標の達成に取り組む

中項目

1. 全職員が一体となって中期目標を達成すること

取組項目

中期目標の達成に向けて、全職員が一体となって取り組む組織文化を醸成する

【期待する成果】

・県と法人が連携し、中期目標の達成を図る

職員の中期目標・中期計画の理解度

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
調査	常に前年度より改善させる			100%を目指す

○法人の理念及び中期目標・中期計画の浸透

理事会、経営企画会議等での決定事項の全職員への周知

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
理事会、経営企画会議毎月各1回開催				

3病院合同での会議等の開催

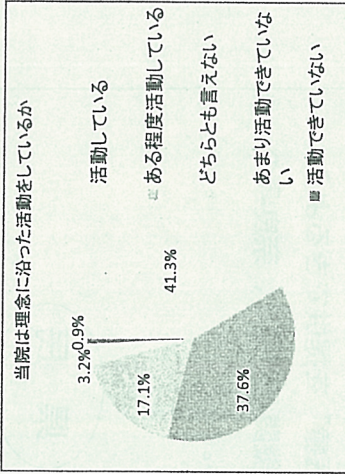
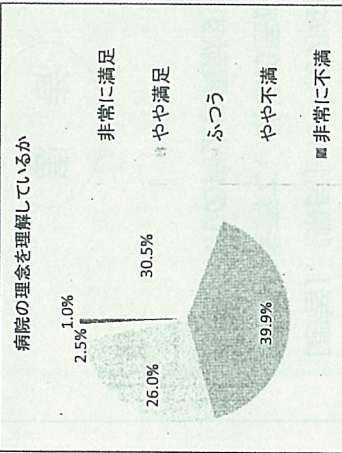
H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
3病院合同で部門別の連絡会議の開催				

各病院での経営体制の強化

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
病院ごとの経営企画委員会毎月開催				

現状

○病院の理念理解度



※H25年度職員満足度調査結果より

## 中期目標

### 大項目

### I. 患者にとって最適な医療の提供

### 中項目

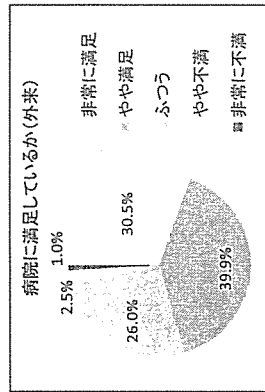
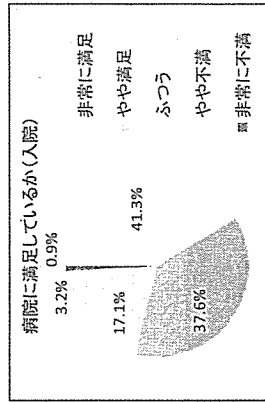
#### 2. 患者が満足する医療サービスの提供

#### 【期待する成果】

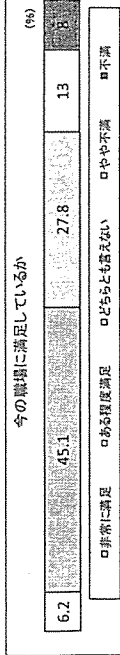
- ・患者の不満足は病院経営の糧と考え、患者意見を把握する
- ・患者意見について、具体的な要因分析を実施するとともに、継続的な改善に努める

### 現状

#### ○ 患者満足度調査結果



#### ○ 職員満足度調査結果



## 中期計画

### 法人の決意

### 患者の視点に立った医療の提供

### 取組項目

- ・ホスピタリティマインドの向上を図る
- ・患者に対する適切な医療情報の提供
- ・患者が治療に専念できる環境を充実させる

- 患者満足度調査、患者の声等の患者意見を分析し、病院運営に反映させる  
患者満足度「病院に満足しているか」

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
入院	79%					
外来	70%					
	常に前年度より改善させる					

- 教育研修センターでの接遇・リスクマネジメント・コミュニケーション研修等の実施

- 臨床指標(クリニカルインディケータ)の設定と公開

- インフォームドコンセントの徹底

- ・クリニカルパスの整備・運用

- ・チーム医療体制の充実

- 患者・患者家族に対する相談機能の充実

- ・患者支援センターの設置

- 外国人患者受け入れ体制整備

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
体制整備等準備					
受け入れ					

- 病院機能評価の認証取得  
(総合医療センター・西和医療センター・リハビリテーションセンター)

- 患者が治療に専念できる環境を充実させる

- ・ハード・ソフト両面にわたる患者の視点にたつたアメニティづくり

- ・コンシェルジュの配置

- ・最新の医療機器の整備

- 職員満足度調査の結果を分析し、病院運営に反映させる

- 職員満足度「職場に満足しているか」

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
51%						
	常に前年度より改善させる					
	80%以上					

大項目

I. 患者にとって最適な医療の提供

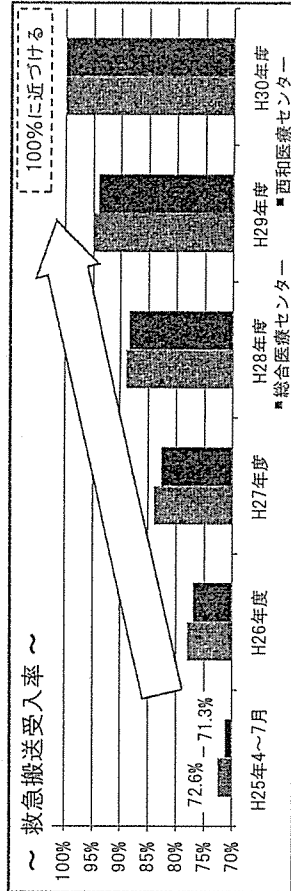
中項目

3. 断らない救急の実現

救急搬送ルールに則った救急患者を100%受け入れる

【期待する成果】

救急搬送受入率 100%に近づける



現状

○緊急度の高い患者(心肺停止、脳卒中、急性心筋梗塞、重症外傷等の重篤疾患)の

受入先確保に要する病院照会回数が4回以上の割合 13.2%(H23年)

※県地域医療連携課調べ

○全国平均と比べて119番通報から病院収容までの所要時間が長い

救急搬送の平均収容所要時間

H24年 奈良県 43.1分  
全国平均 38.7分

※消防庁「平成25年度版 救急・救助の現況」より

法人の決意

24時間365日の救急搬送受入を可能とする

取組項目

- ・受入体制の構築
- ・人材の確保、養成
- ・院内後方支援・連携体制の整備

共通項目

- 搬送要請された救急患者を全て受け入れる
- ・院内の各科での受入体制の充実
- ・救急専門医の確保、育成

総合医療センター

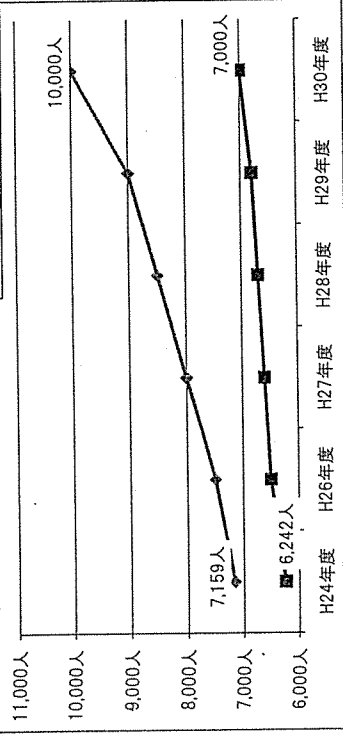
- ・特に重篤な救急患者を全て受け入れる
- ・ER体制を実現する
- ・脳梗塞、脳内出血、急性心筋梗塞に対して早期治療がでる体制強化
- ・精神科身体合併症患者の受け入れ体制の構築

西和医療センター

- ・広く二次救急患者を受け入れるため、救急部を整備し、救急部専任医師当直体制を確立する
- ・特に重篤な循環器系救急患者を全て受け入れる
- ・循環器疾患への高度医療の提供のため、心臓血管治療部門及び集中治療部門を充実させる
- ・脳卒中の24時間早期治療体制の充実

- ・他病院との連携体制の構築
- ・専従のトリアージ・ナースの育成、配置

～時間外救急患者数～



中期目標

大項目

I. 患者にとって最適な医療の提供

中項目

4. 質の高いがん医療

県内でがん治療を希望する県民を100%対応するため、  
県内の他の医療機関と連携する

【期待する成果】

県内がん登録患者数を増やす (1~12月実績)					
H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
1,007人					50%増

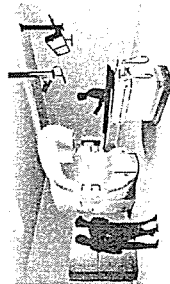
常に前年度より改善させる

現状

- 他府県と比べ、県外の医療機関を利用する人の割合が高い  
入院15.4%(全国第3位)  
外来15.8%(全国第4位) (厚生労働省 平成23年患者調査)
- がん薬物療法専門医、放射線治療専門医、緩和ケア専門医が  
県下に少ない  
放射線治療専門医 11名(H24.11.19現在)  
がん薬物療法専門医 6名(H25. 1.10現在)  
緩和ケア専門医 0名(H24. 4. 1現在)

出典：第2期奈良県がん対策推進計画  
(関係学会等の公表データから県とりまとめ)

※ 県立病院の現状  
総合医療センターに放射線治療専門医1名のみ



中期計画

法人の決意

県内の医療機関と連携して県内でがん治療を希望する県民を  
100%受け入れるために、主体的な役割を果たす

取組項目

- ・ 手術療法、放射線療法、化学療法などのがんの集学的治療の提供
- ・ 早期がんだけでなく他病院では診ることができない進行がんにも対応
- ・ 地域がん診療連携拠点病院としての機能の発揮
- ・ 人材の確保、養成

放射線治療件数

H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
7,063件					8,500件
総合					20%増

外来化学療法件数

H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
2,066件					4,000件
西和	393件				倍増

共通項目

- がん連携パスの稼働を促進し、地域の医療機関との連携の強化
- 人材の確保、養成
- 放射線治療専門医、がん薬物療法専門医、乳癌外科医、緩和ケア専門医、血液内科専門医等
- ・放射線治療士、放射線治療品質管理士
- ・医学物理士、放射線治療認定薬剤師、認定看護師、がん看護専門看護師

総合医療センター

- 手術療法、放射線療法、化学療法などのがんの集学的治療の提供
- ・早期がんだけでなく他病院では診ることができない進行がんにも対応
- 新病院の整備
- ・最新医療機器(放射線治療機器3台)の導入
- ・外来化学療法室の拡充(7台→20台)
- ・緩和ケア病棟20床の設置

西和医療センター

- 手術療法の充実
- 外来化学療法の実現  
(放射線治療については  
新病院建設時に導入の検討)

大項目

I. 患者にとって最適な医療の提供

中項目

5. 周産期医療体制の強化

- ・ 県立医科大学と連携してハイリスク妊婦・新生児の県外搬送ゼロに貢献する
- ・ 安心してお産ができる体制を整備する

【期待する成果】

ハイリスク妊婦の県内搬送率 (1~12月実績)

H24年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
91.2%					100%に近づける
常に前年度より改善させる					
総合					

新生児の県内搬送率 (1~12月実績)

H24年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
99.2%					100%に近づける
水準維持					
総合					

西和医療センターの産科再開

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
産科再開準備				
再開				
西和				

現状

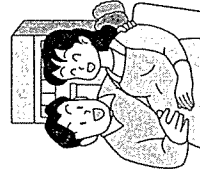
- 県民アンケートにおいて、「安心できる周産期医療体制」の項目については、重要性は高いが、満足度が低いという結果がでている (H25年度調査結果)
- ハイリスク母体の県内搬送の割合 91.2% (H24.1~12月実績)
- 新生児の県内搬送の割合 99.2%
- NICUの後方病床が不足しておりNICU稼働率が常に高い状況

総合医療センターのNICU・GCU病床利用率

H22年度	H23年度	H24年度
76.7%	91.3%	91.2%

※H25. 4. 1現在  
NICU 9床  
GCU 6床

医師数 産婦人科 9名  
新生児集中治療室 7名



法人の決意

ハイリスク妊婦・新生児の県外搬送ゼロを目指すために貢献する

取組項目

- ・ 24時間365日のハイリスク妊産婦及び新生児の搬送受入を可能とする体制の強化
- ・ 西和医療センターにおける産科の再開

NICU病床利用率

H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
98.5%					93.0%
総合					

GCU病床利用率

H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
82.4%					85.0%
総合					

分娩件数(うち帝王切開件数)

H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
472件 (171件)					560件 (210件)
総合					

- 24時間365日のハイリスク妊産婦及び新生児の搬送受入を可能とする体制の強化

- ・ 周産期医療を担う人材の確保、育成 (小児循環器医、小児外科医、小児心臓血管外科医等)
- ・ 新総合医療センターにおける病床の整備 MFICU 3床、NICU 12床、GCU 18床を整備する
- ・ 新生児搬送、ドクターカーの運用

- 西和医療センターにおける産科の再開

- ・ 医師の確保
- ・ 助産師の養成、確保

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
5人				8人

中期目標

大項目

I. 患者にとって最適な医療の提供

中項目

6. 小児医療体制の整備

- ・急性期を中心とした小児医療の拠点病院として、重症の小児患者を確実に受け入れる
- ・小児の発達障害の診療及びリハビリテーション

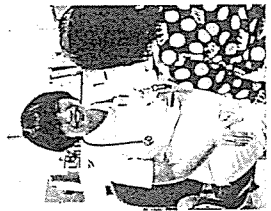
【期待する成果】

小児患者の救急搬送受入率

	H25年4～7月	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	82.4%					100%に近づける
西和	85.7%					

現状

○ 小児科二次輪番時の患者のうち、入院が不要で帰宅した患者の割合 84.9% (H24年度)



中期計画

法人の決意

- ・小児救急患者を確実に受け入れる
- ・特化した専門領域の診療の開始を検討する

取組項目

- ・小児救急機能の強化
- ・人材の確保、育成
- ・地域の他病院との連携を強化する

小児患者の救急入院患者数

	H24年度	H28年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	561人					倍増 1,000人
西和	203人					倍増 400人

共通項目

- ・小児救急機能の強化
- ・二次小児輪番の参加病院としての役割を果たす
- ・二次小児輪番日以外における対応の検討
- ・人材の確保、育成
- ・小児看護専門看護師の確保

総合医療センター

- ・重症の小児患者の確実な受け入れ
- ・重症心身障害児の急性増悪時における受け入れ
- ・小児救急を担う医師の確保
- ・小児救急看護認定看護師の養成
- ・重症患者を受け入れるベッドの整備 (PICU 2床)

西和医療センター

- ・二次救急の充実
- ・西和地域での休日診療との相互支援 (H28から実施予定)

大項目

I. 患者にとって最適な医療の提供

中項目

7. リハビリテーション機能の充実

- ・ 高度・専門的なリハビリテーション医療を充実させる
- ・ 急性期の疾病治療・リハビリテーションから、回復期のリハビリテーションを連続的、一体的に提供する体制を構築する

【期待する成果】

急性期病院在院日数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	12.2日					11日
西和	14.7日					12日

常に前年度より改善させる

在宅復帰率

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
リハ	87.8%					

常に高い水準で維持

現状

- 総合医療センター・西和医療センターからリハセンに転院する患者は少ない  
総合医療センターからリハセンへ 6名  
西和医療センターからリハセンへ 15名 (H24年度実績)
- 総合医療センター・西和医療センターとリハセンが一貫したリハビリを行えば、リハビリ効果は上がる
- 発達障害児の増加は著しいが、県内の受入施設は不足している
- 保護者から訓練回数(頻度)の増、訓練終了後の継続支援等の要望が強い
- 早期リハビリテーション実施件数は、人口10万人あたり437.1と、全国値441.7に比べやや少ない

	県全体	全国値
件数	6,171	561,247
人口10万人あたり	437.1	441.7

法人の決意

- ・ 患者の多様なニーズに対応できる高度・専門的リハビリテーションを提供する
- ・ 急性期から回復期にかけての一貫した最適なリハビリを行い、多くの方が在宅復帰できるよう支援する
- ・ 障害児(者)医療の提供・充実

取組項目

- ・ 急性期については総合医療センター・西和医療センターにおいて、回復期にかけては総合リハビリテーションセンターにおいて役割を担当
- ・ 発達障害児に対する感覚統合療法の充実
- ・ 障害児(者)に対する外科的治療の充実

心大血管 リハビリテーション実施件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	1,547件					4,200件 40%増
西和	—	5,525	2,800件			3,200件 12%増

脳血管 リハビリテーション実施件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	13,422件					14,000件 5%増
西和	9,337件					10,800件 15%増
リハ	168,174件					172,500件 2.5%増

運動器 リハビリテーション実施件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	7,626件					9,000件 20%増
西和	7,475件					8,600件 15%増
リハ	33,134件					34,000件 2.5%増

小児 リハビリテーション実施件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
リハ	39,871人					41,000人 2.5%増

法人内からリハビリテーションセンターへの受入件数を倍増

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
21件						倍増